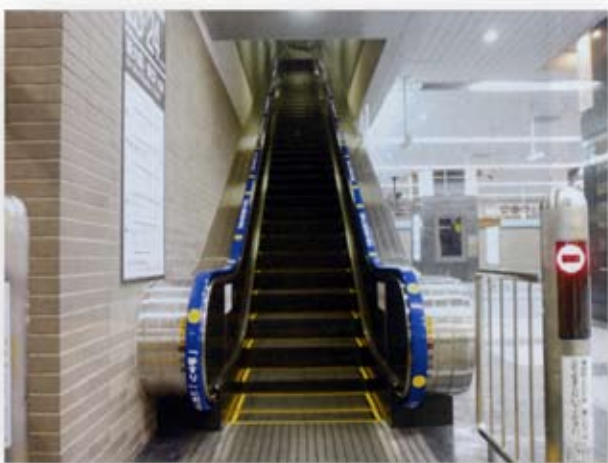


実施効果

ハンドレールシールの実施前・実施後におけるお客様の手すり利用状況の変化

某駅の上りエスカレーターにおいては、ハンドレールシール実施前と実施後に、手すりを掴んで踏段に立ち止まっている人数をカウントした結果、手すり利用状況は、実施前に比べて、実施後は平均 33% 増加した。2012 年（平 24）3 月に実施した某駅においては、手すり利用率が実施前の 9% から 16% に上昇するとともに、階段の歩行者が実施前の 52% から 24% に減少した。これらにより手すりシールによる注意喚起効果が大きいことが実証されました。

（日本鉄道車両機械技術協会ハンドブック）



また、ハンドレールシールにある黄色丸印のコントラストが強く、印の動きが認識しやすいため進行方向が判りやすく、視覚障害者（弱視者）の方や高齢者がエスカレーターに乗り込みしやすい効果があります。

更に、進行方向が判りやすいため誤進入の防止にも効果があり、シールによるハンドレールの美化効果も期待できます。

公共交通機関の移動等円滑化整備ガイドラインでも、ハンドレールにしるしをつけることなどによりベルトの進行方向を表示することが望ましいと推奨しています。

